

2010年は国民読書年です！



国民読書年とは？

深刻化する活字離れ、読書離れが危惧される昨今の状況を踏まえて、文字・活字によって伝えられてきた知的遺産を継承・発展させるために制定されました。今年もあと2ヶ月となりましたが、皆さんは今年何冊くらいの本を読みましたか？図書館では、国民読書年と取手市制40周年を記念して、読書スタンプラリーを開催しています。記録用紙に図書館で借りて読んだ本の名前を記入し、スタンプを押します。目標冊数に到達したら、参加賞がもらえます。期間中（平成23年1月15日まで）であれば何度でも挑戦できます。ぜひ、ご参加ください。くわしくは、カウンターまで。



取手市制施行40周年

図書館にはたくさんの地域資料があります

地域資料とは、取手市や茨城県など地域に関する資料のことです。図書館では取手市・茨城県および県内各市町村に関する資料や取手市・茨城県が発行する行政資料を積極的に収集し保存しています（約1万冊）。そのほか新聞などに掲載された取手に関する記事をスクラップして、現在の地域の情報も集めています。閲覧ができますので、ぜひご利用ください。地域資料の多くは館内でのご利用をお願いしていますが、複本がある資料は貸出もしています。お問い合わせください。



クリスマス行事ご案内



★★おはなし会★★

取手図書館

12月22日(水) 10:30~

12月23日(木/祝) 14:00~

ふじしろ図書館

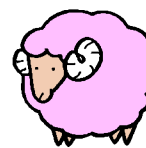
12月18日(土)

(1部) 14:00~

(2部) 15:00~



おすすめの本



『羊のセルマ』

ユッタ・パウアー著、山崎慶子訳、二見書房

「幸せって何ですか？」の問いに、羊の長老が答えたのは「セルマ」という名の羊の話。セルマは「時間とお金をたくさんもらったら？」と質問されます。セルマの答えは「いつもの生活と変わらない」ことをいいます。セルマの生活は地味なものですが、「幸せ」とは日々の生活の中、自分のまわりにあるものでは...と考えさせてくれます。大人が読める絵本です。



☆☆ふじしろ図書館に、大人にもおすすめの絵本コーナーができました☆☆